



学校創立143周年

百年松

阿木名小中学校便り 令和5年1月13日発行

◇校訓「かしこく やさしく たくましく」
あきな 明るく元気なあいさつができる子ども
ぎりぎりまであきらめず努力する子ども
な 仲よく笑顔いっぱいの子ども
～花いっぱい、元気いっぱい、笑顔あふれる阿木名っ子～



あけましておめでとうございます！

校長 井上 泉

Happy New Year



お正月をどのように過ごしましたか。楽しいお正月、気持ちの引き締まる新年を迎えたことでしょう。令和5年も一生懸命頑張ります。皆様、本年もよろしくお祈りします。

目標に向かって挑戦することを「チャレンジ」と言います。チャレンジしてみれば何かしらの成果が得られるものです。でもだれでもその一歩を踏み出すまで、自分に何ができるかわからないものです。不安もあります。「あんなことができたらなあ」といくら心に描いても、希望だけでは何も実現しません。ですからその希望に具体的な目標をもち、チャレンジすることです。

例えばバレーや野球で優勝したいという夢や希望をもちます。そのためにはまず、技術を身につけなければなりません。まずそれをチームの目標に掲げ、基礎的なことから練習していきます。次に自分たちよりも強いチームに勝つことを目標に、実践を重ねます。このようにして小さな目標を一つずつクリアしていき、希望だった優勝に近づいていくのです。もちろん簡単に目標達成するわけではありません。困難なことが多く、その困難に取り組み練習しているうちに、それを克服する方法が見つかります。努力を繰り返せば、力と勇気もしだいに大きくなります。甲子園に出場する高校野球の、練習風景を見たことがありますか。照りつける太陽の下で、あるいは寒い風の吹く中で黙々と走っています。野球とは直接関係のない練習のように思えます。打ったり投げたりする練習の方が、技術が身に付きそうです。でも一見ムダなようなこの練習こそが、野球に必要な足腰を鍛え、粘り強い心を育てるのです。

学習においても同じことが言えます。学習方法にもいろいろありますが、例えば何回も繰り返す「ドリル」学習。あきてしまい、途中で投げ出したくなるかもしれませんが、それをじっと我慢してこそミスを防ぎ、だんだん理解することができるようになってきます。

勝利を手にしたたり、目標を達成したりする人たちは、みんな大きな山に登るように、チャレンジ精神をもって、ふもとから一步一步、汗をかきながら登っていることを決して忘れないでください。

令和5年も、職員一同一生懸命頑張ります。今年も阿木名校へのご支援・ご協力をよろしくお祈り致します。

